

今週の感染症発生動向

- ◆ 感染性胃腸炎はやや増加
- ◆ インフルエンザは横ばい

★一類～五類全数報告感染症の発生状況(第16週)

- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---**結核 7名**
- ・三類感染症---報告はありません
- ・四類感染症---報告はありません
- ・五類感染症---報告はありません

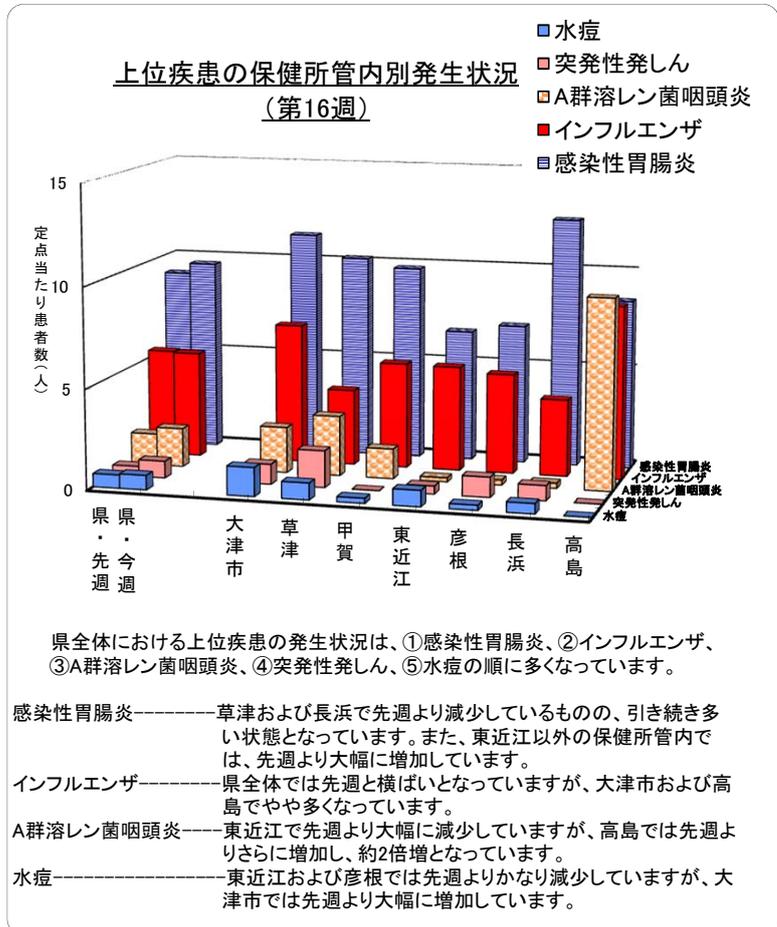
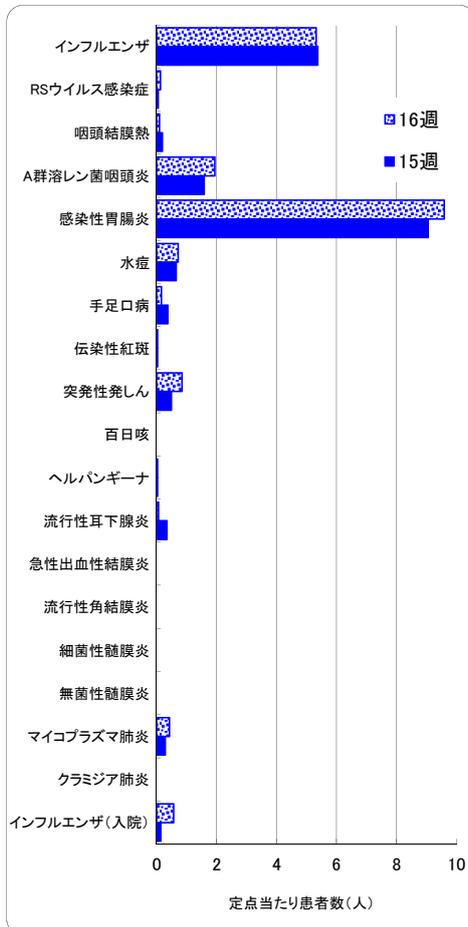
★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(699名)よりやや増加し、今週は724名となっています。今週、増加した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、マイコプラズマ肺炎等で、減少した疾患は手足口病、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、インフルエンザ入院サーベイランスでは、インフルエンザの入院患者 4名の届出がありました。保健所管内別では草津 1名、彦根 1名および長浜 2名です。性別は男性 3名、女性 1名で、年齢は5ヵ月、2歳、3歳および10歳です。滋賀県における発生状況の概要は、(3)今週の発生状況に示すとおりです。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとおりです。

警 報----A群溶レン菌咽頭炎 (警報開始基準値 8.00、警報終息基準値 4.00) 高島保健所管内



1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といい、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成24年 累積報告数		平成23年 累積報告数 ^{(*)1}		平成22年 累積報告数 ^{(*)2}		
		滋賀 (16週)	全 国 ^{(*)3} (15週 ^注)	滋賀	全 国 ^{(*)3}	滋賀	全 国 ^{(*)3}	
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0	
二類感染症	結核	81	7,682	338 ^{(*)4}	31,467	251	26,866	
三類感染症	コレラ	0	1	0	12	0	11	
	細菌性赤痢	0	78	5	299	2	235	
	腸管出血性大腸菌感染症	3	211	71	3,938	66	4,134	
	パラチフス	0	7	0	23	1	21	
四類感染症	E型肝炎	0	44	0	61	0	66	
	A型肝炎	0	43	0	176	3	347	
	オウム病	0	1	0	13	1	11	
	つつが虫病	1	61	1	461	2	407	
	デング熱	0	43	1	104	2	244	
	マラリア	1	13	0	78	0	73	
	レジオネラ症	2	176	12	819	10	751	
	アメーバ赤痢	5	229	2	814	7	843	
五類感染症	ウイルス性肝炎	0	52	1	249	3	221	
	急性脳炎	3	162	1	259	0	242	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	50	2	136	2	172	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	88	2	198	3	122	
	後天性免疫不全症候群	0	361	6	1,523	1	1,553	
	ジアルジア症	0	12	1	68	1	77	
	梅毒	0	220	6	827	9	621	
	破傷風	0	21	1	114	0	106	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	24	0	73	2	120	
	風しん	2	122	2	374	5	87	
	麻しん	2	104	1	443	1	447	
	動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	0	1	9	37	0	59

注：16週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

*1：感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月現在)。

*2：感染症発生動向調査事業年報確定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月)。

*3：全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

*4：平成23年分として、第14週に追加報告が1件ありました。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。
(患者報告数 = 定点当たり患者数 × 定点数)

(1) 疾病別・週別発生状況(平成24年第11週～16週、3/12～4/22)

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
			11週	12週	13週	14週	15週	16週	週				
			3/12～	3/19～	3/26～	4/2～	4/9～	4/16～	12	13	14	15	16
インフルエンザ	53	インフルエンザ	11.62	14.45	9.62	6.19	5.38	5.32					
小児科	32	RSウイルス感染症	0.28	0.13	0.16	0.16	0.06	0.13					
		咽頭結膜熱(プール熱)	0.13	0.16	0.22	0.16	0.19	0.09					
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.50	2.16	2.91	1.47	1.59	1.94					
		感染性胃腸炎	6.06	6.88	6.97	6.50	9.06	9.59					
		水痘	1.22	1.72	1.13	1.00	0.66	0.72					
		手足口病	0.34	0.56	0.28	0.16	0.38	0.16					
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.03	0.03	0	0.03	0.03					
		突発性発しん	0.44	0.50	0.56	0.44	0.50	0.84					
		百日咳	0	0	0	0.03	0	0					
		ヘルパンギーナ	0.06	0.03	0	0	0.03	0.03					
		流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.16	0.31	0.31	0.25	0.34	0.06					
眼科	8	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
		流行性角結膜炎	0	0.38	0.13	0.25	0	0					
基幹	7	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
		マイコプラズマ肺炎	0.14	0.43	0	0.14	0.29	0.43					
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.14	0	0	0	0	0					
		インフルエンザ(入院) [*]	0.29	1.00	0.86	0.57	0.14	0.57					

*：平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

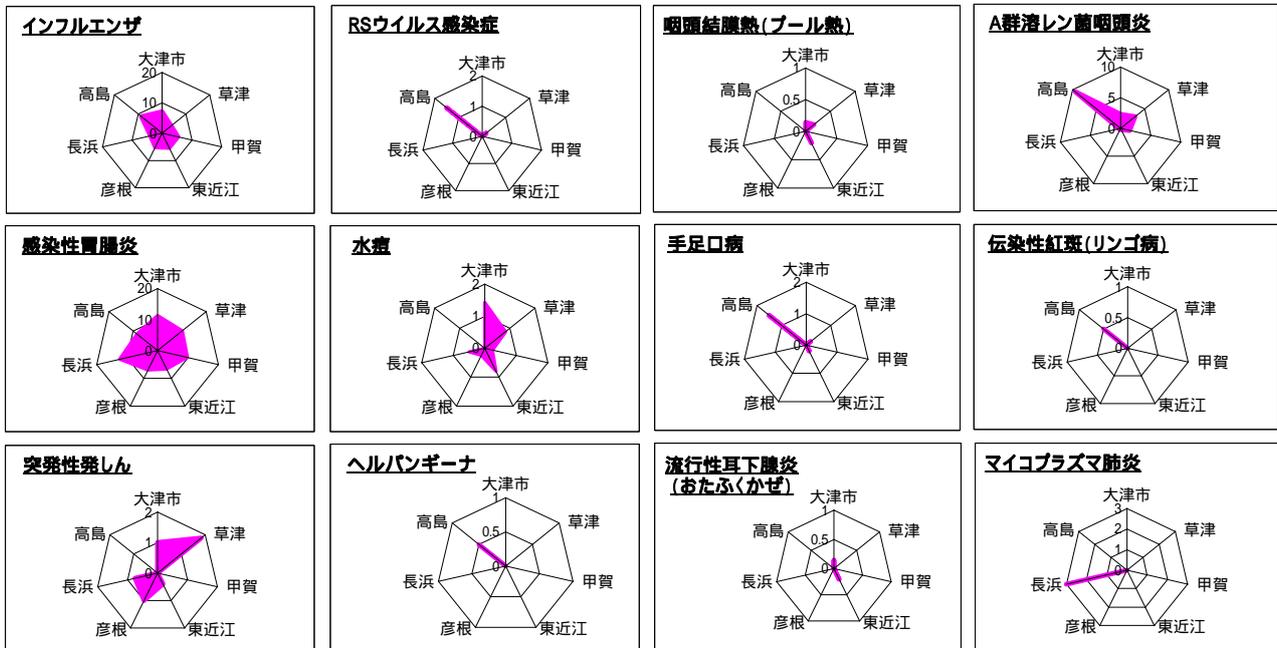
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第16週、4/16~4/22)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	5.32	7.00	3.80	5.29	5.25	5.00	3.86	8.67	
RSウイルス感染症	0.13	0	0.17	0	0	0	0	1.50	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.09	0.14	0.17	0	0.20	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.94	2.29	3.00	1.50	0.20	0.25	0.25	9.50	
感染性胃腸炎	9.59	11.29	10.17	9.75	6.60	7.00	12.50	8.50	
水痘	0.72	1.43	0.83	0.25	0.80	0.25	0.50	0	
手足口病	0.16	0	0.17	0	0.20	0	0	1.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0	0	0	0	0	0.50	
突発性発しん	0.84	1.00	1.83	0	0.40	1.00	0.75	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0	0	0	0	0	0	0.50	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.06	0.14	0	0	0.20	0	0	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.43	0	0	0	0	0	3.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザ(入院)	0.57	0	1.00	0	0	1.00	2.00	0	

赤・太字 は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。
青緑・太字 は注意報発生基準値を超えています。

0 2 4 6 8 10
 定点当たり患者数(人)

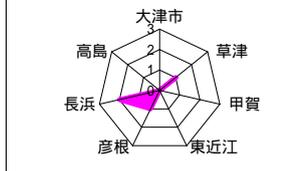
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>
 高島保健所管内で再び先週より増加し、引き続き警報終息基準値(定点当たり患者数4.00)を超えています。また、県全体の年齢別発生割合は、3歳、4歳、5歳、6歳および7歳で全体のほぼ66%を占めています。
 <マイコプラズマ肺炎> 先週に引き続き、長浜保健所管内からの報告のみです。

インフルエンザ(入院)



インフルエンザ
 入院サーベイランスの概況
 (平成23年第36週~
 平成24年第16週、滋賀県)

トップページに戻る

入院時の状況(滋賀県)

期間		入院時の状況			
		ICU入室	人工呼吸器の使用	頭部CT検査、頭部MRI検査、脳波検査のいずれか実施	いずれにも該当せず
平成23年	9月	0	0	0	0
	10月	0	0	0	0
	11月	0	0	0	1
	12月	0	0	0	5
平成24年	1月	1	2	8	31
	2月	1	1	16	53
	3月	0	1	7	23
	4月*1	0	0	0	9
計*2		2	4	31	122

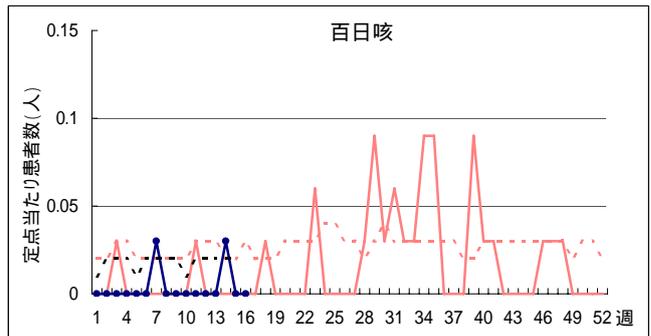
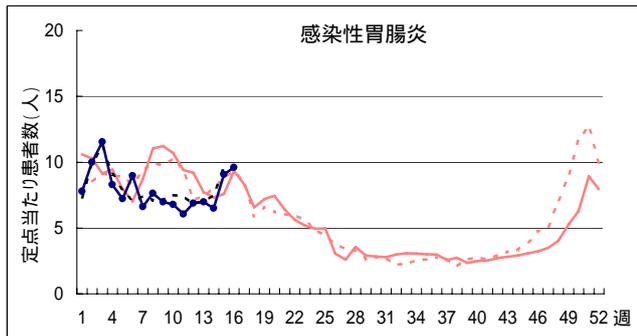
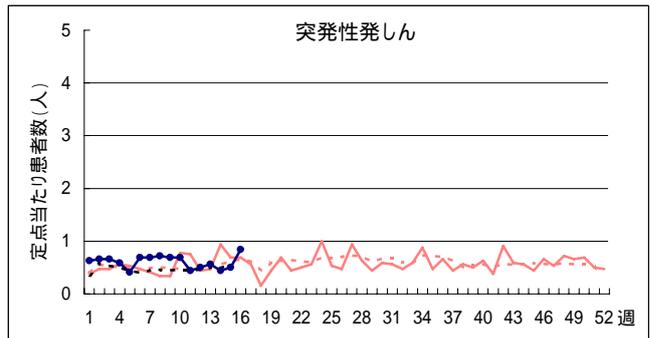
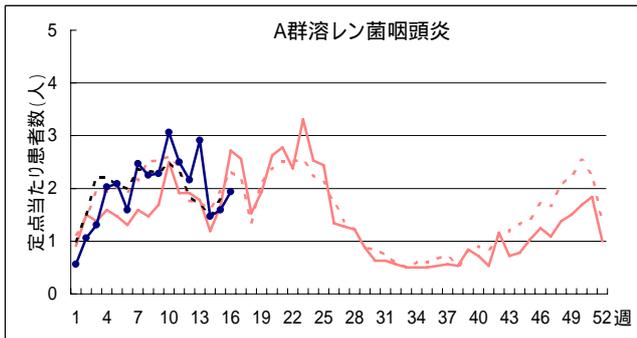
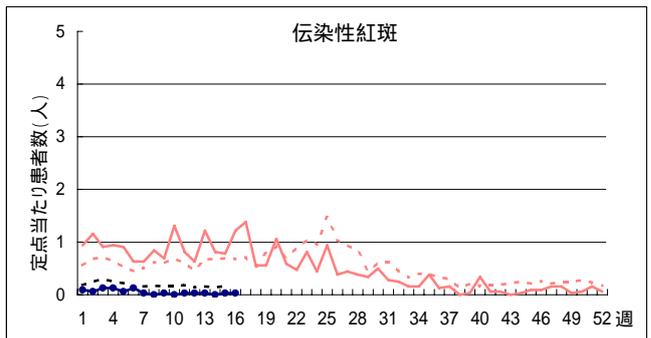
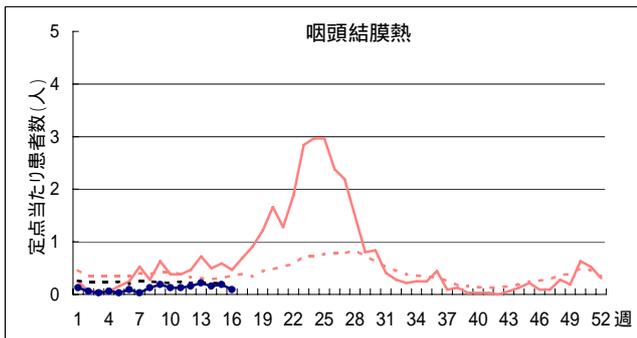
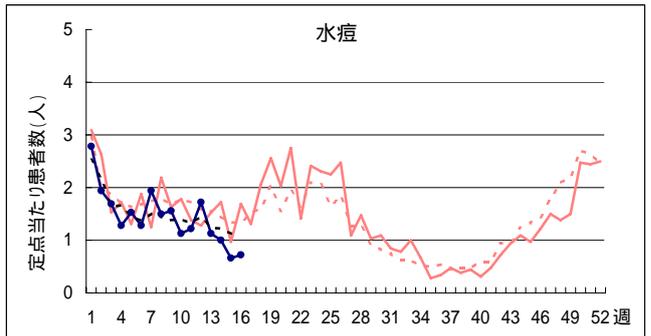
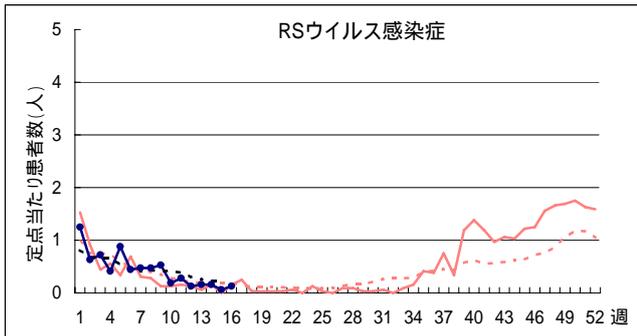
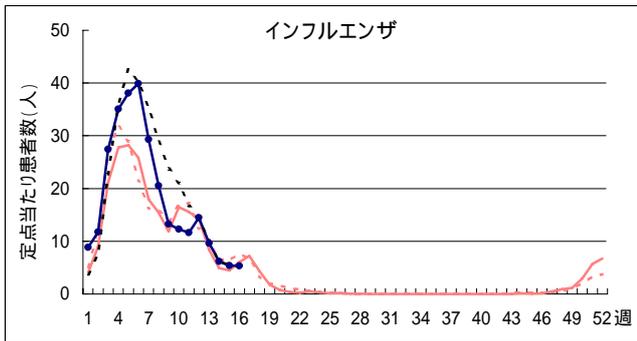
*1: 第16週(4/16~4/22)現在 *2: 一部重複あり (人)

性別・年齢別発生状況(滋賀県)

年齢	入院患者数		
	男性	女性	計
1歳未満	10	6	16
1~4歳	21	20	41
5~9歳	20	9	29
10~14歳	3	2	5
15~19歳	1	0	1
20~29歳	0	0	0
30~39歳	0	3	3
40~49歳	2	1	3
50~59歳	0	2	2
60~69歳	4	1	5
70~79歳	5	9	14
80歳以上	8	17	25
合計	67	68	144

(人)

疾病別定点当たり患者数(平成24年第16週、H24.1.2～H24.4.22)



疾病別定点当たり患者数 (平成24年第16週、H24.1.2～H24.4.22)

H23 〔 滋賀 ———— 全国 〕
 H24 〔 滋賀 ●——— 全国 〕

